

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和8年6月25日

八戸市長 殿



提出者

住 所 青森県八戸市大字河原木字海岸4-11

氏 名 東京鐵鋼株式会社 八戸工場

工場長 村上 直也

電話番号 0178-28-9191

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 7 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東京鐵鋼株式会社 八戸工場
事業場の所在地	青森県八戸市大字河原木字海岸4-11
事業の種類	鉄鋼業[2620]
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,500 t	全処理委託量	3,500 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		優良認定処理業者への処理委託量	
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		再生利用業者への処理委託量	3,500 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	3,443 t
	前年度	2,751 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 2012年度から電子マニフェストを使用している。		

※事務処理欄

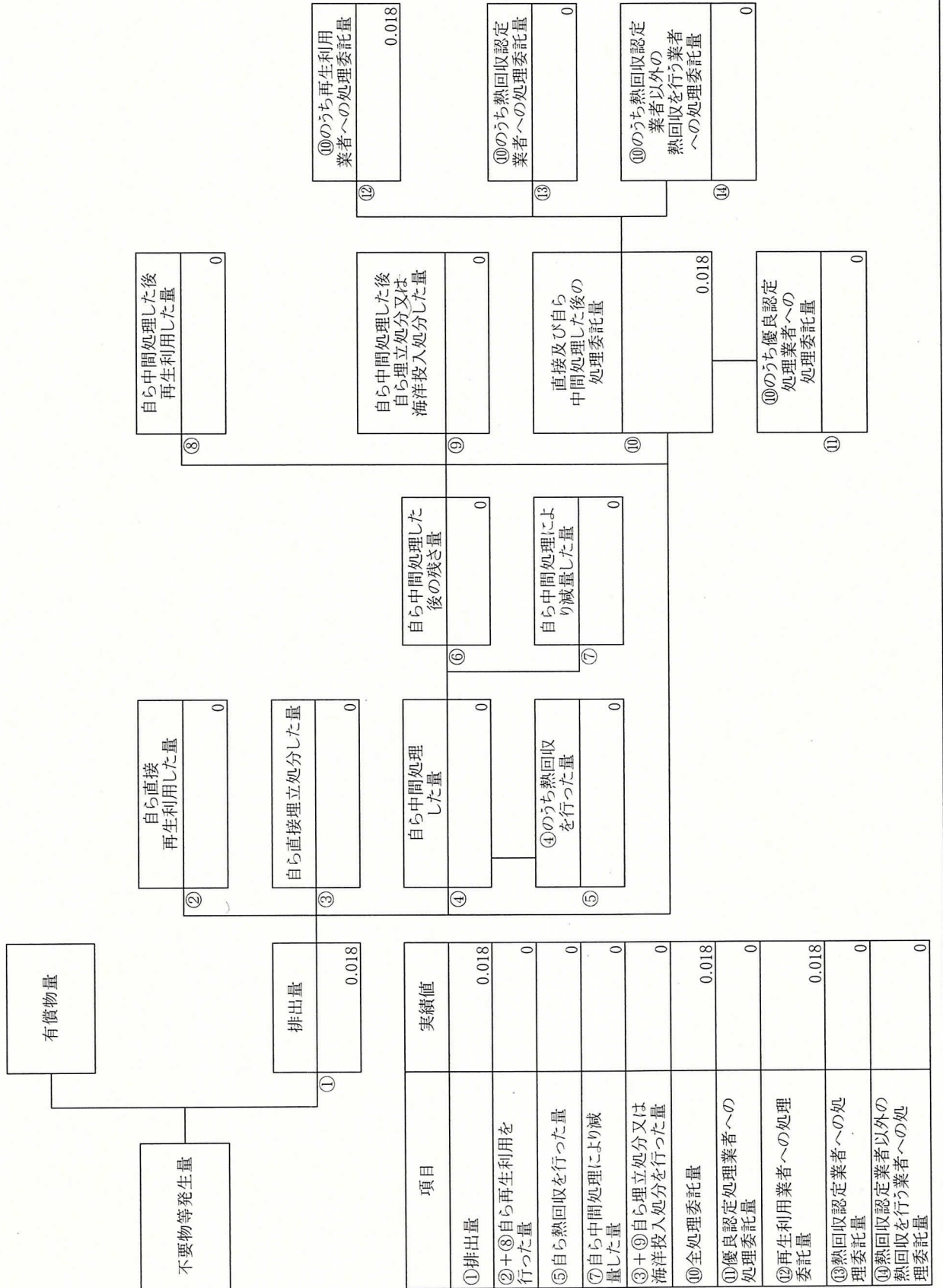
(日本産業規格 A列4番)

特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 第 2 面 入 力 支 援 用 シ ー ト 〕

名 称	計 画 実 施 状 況													
	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分した量 (t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残存量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後の 埋入処分又は海 洋投入処分した量 (t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	⑪優良認定処理業者 への処理委託量 (t)	⑫再生利用業者への 処理委託量 (t)	⑬熱回収認定業者 への処理委託量 (t)	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量 (t)
特別管理産業廃棄物の種類	当該事業場において 生じた特別管理産業 廃棄物の種類ごとの 量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間処 理をせず自ら埋立処分した 量	①の量のうち、自ら中 間処理した特別管理産 業廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱 回収を行った量	④の量から⑥の量 を差し引いた量	④の量から⑥の量 を差し引いた量	⑥の量のうち、自 ら利用し又は他 人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	⑩の量及び最終処分 を委託した量	⑪の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	⑫の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量 (注1、注 2、注3)	⑬の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処 理業者への焼却処理委 託量	⑭の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処 理業者へ行っている処理業者へ の焼却処理委託量
廃油														
廃酸	0.018									0.018				
廃アルカリ														
感染性廃棄物														
廃PCB等														
PCB汚染物														
PCB処理物														
指定下水道汚泥														
鉛、銅、鋅、														
廃石綿等														
燃え殻														
ばいじん	2750.79									2750.79			2750.79	
廃油(廃溶剤)														
汚泥(金属等を含むもの)														
廃酸(金属等を含むもの)														
廃アルカリ(金属等を含むもの)														
合計	2750.808	0	0	0	0	0	0	0	0	2750.808	0	0	2750.808	0

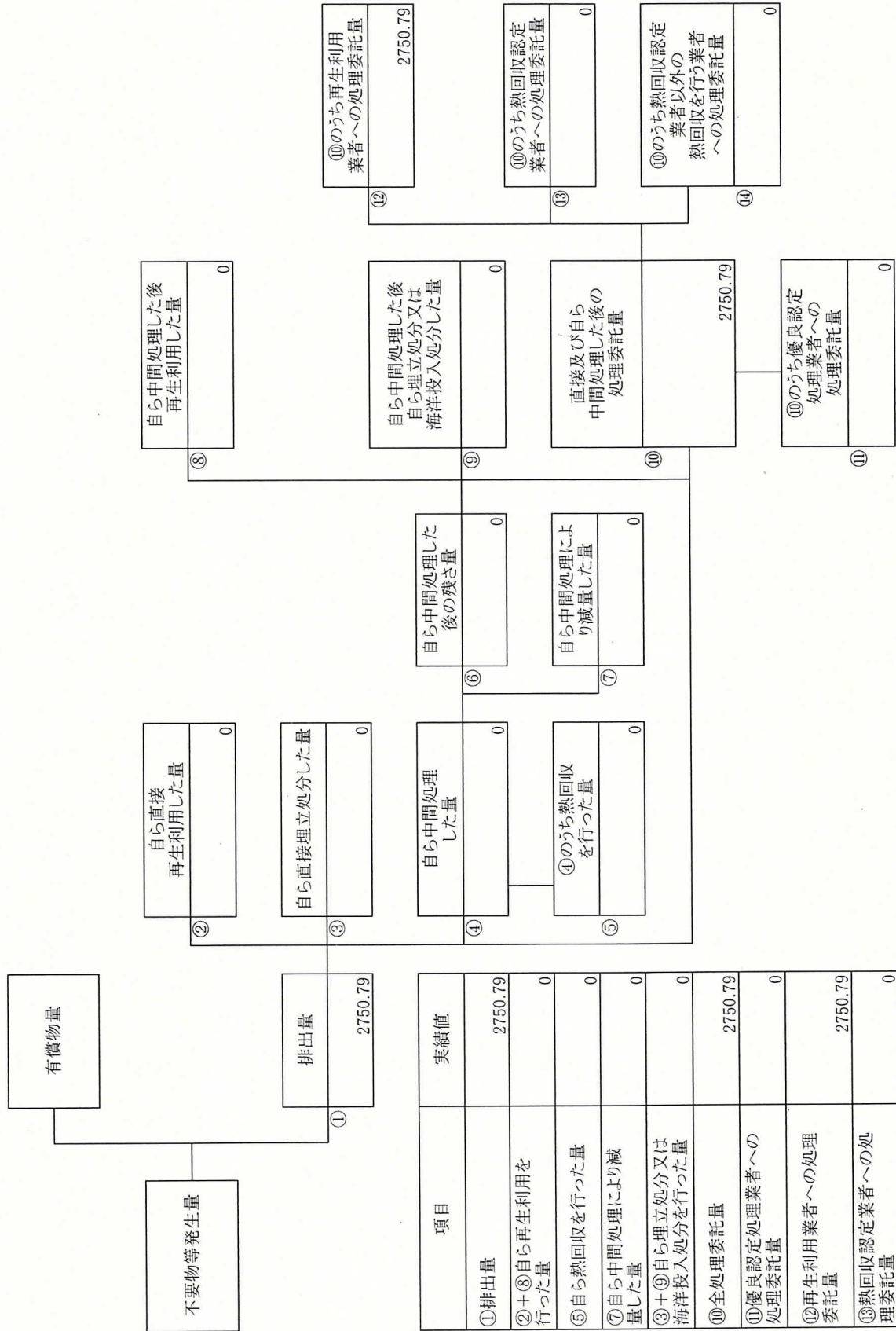
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸)



計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:ばいじん)



項目	実績値
①排出量	2750.79
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2750.79
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	2750.79
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。